

平成 2 0 年 2 月 2 2 日

平成 2 0 年 第 2 回

東大和市教育委員会定例会会議録

東大和市教育委員会

平成20年第2回東大和市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 平成20年2月22日（金曜日）午後2時4分～午後2時59分

2. 場 所 東大和市役所会議棟第6・7会議室

3. 出席委員 1番 並 木 周 蔵（委員長）

2番 鈴 木 敏 彦

3番 小 泉 美佐子

4番 土 田 豊

5番 佐久間 榮 昭（教育長）

4. 欠席委員 な し

5. 説明職員

学校教育部長 並 木 清 志

社会教育部長 窪 田 きく江

学校教育部
参事兼
指導室長 真 如 昌 美

社会教育部
参事兼
中央図書館長 植 野 英 夫

庶務課長 鈴 木 尚

学務課長 下 平 一 紀

給食課長 小 野 寛

社会教育課長 小 俣 学

体育課長 戸 所 保

中央公民館長 長 島 孝 夫

郷土博物館
副館長 猿 橋 壽 一

指導主事 山 本 武

6. 書 記

庶務係長 尾 又 斉 夫

主 事 谷 本 惇

○議事日程

第1 会議録署名委員の指名

第2 教育長諸務報告

第3 第2号報告 事務の臨時代理の承認について

第4 第3号報告 事務の臨時代理の承認について

第5 第12号議案 東大和市教育委員会委員の辞職について

第6 第13号議案 平成20年度東大和市学校給食事業計画及び平成20年度東大和市学校給食会計予算の答申について

第7 その他報告事項 「教育の日やまと」について

◎開会の辞

○並木委員長 ただいまから平成20年第2回東大和市教育委員会定例会を開催いたします。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

○並木委員長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。
会議録署名委員は、鈴木委員にお願いいたします。

◎日程第2 教育長諸務報告

○並木委員長 日程第2、教育長諸務報告を行います。
○佐久間教育長 それでは、平成20年1月25日から平成20年2月18日の間の諸務報告を申し上げます。

平成20年1月25日、「教育の日やまと」研究奨励校発表を見学いたしました。私は第五中学校の研究発表を見学いたしました。第五中学校の研究テーマは、「特別支援教育の望ましい在り方」でありました。

1月29日、東京都市教育長会生涯学習研究会に出席いたしました。家庭教育について各市の状況を調査いたしましたが、そのまとめについて協議したものであります。

2月1日、校長会定例会に出席いたしました。私からは、酒酔い運転と教師のわいせつ行為が大きく報道されたことから、どこに原因があるのか、どうしたら防げるのか等について、改めて教職員の皆さんで話し合ってほしいということ。それから、学期末が近づくと多くなる児童・生徒に関する資料の流出について、特に注意してほしい旨をお願いいたしました。

同日、東京都市町村教育委員会連合会の研修会に参加いたしました。研修会では講演が行われました。テーマは、「これからの学校教育」で、講師は東京学芸大学教授、児島邦宏氏でありました。

2月4日、学校給食センター運営委員会に出席いたしました。委員会では、平成20年度の学校給食事業計画案及び予算案について審議していただきました。平成20年度は、各学期とも始業式の翌日から稼働することとし、年間197日を稼働

日数とする計画となっております。

2月5日、七市教育長会に出席いたしました。議題の主なものは、平成19年12月、各市の市議会で質問があった項目について、その状況を各市が説明したものであります。各市の議会で取り上げられた主な項目は、通学路等、児童・生徒の安全管理、学力・学習状況調査の今後の活用、少人数学級、生涯学習の進め方等となっております。

2月8日、教育委員懇談会に出席いたしました。

2月12日、東京都市教育長会に出席いたしました。議題といたしまして、4月に行われる総会に提案する平成20年度事業計画及び予算案を審議いたしました。計画案は、総会1回、定例会7回、幹事会8回を中心といたしまして、各市の教育委員会教育次長及び部長会、庶務担当課長会等の計画が示されました。予算は182万円の案で、平成19年度に比較し12万円の減となっております。次に、東京都からの説明事項がありました。主なものは、東京都の教育ビジョン中間のまとめについての説明、学校教育法改正による法上の新たな職、副校長、主幹、指導教諭に合わせた学校管理運営規則の改正について、4月から厳しくするよう見直しをしている服務違反に対する処分の基準等についてが主な項目でありました。

2月13日、市議会臨時会に出席いたしました。案件は、職員給与の改定と、それに伴う補正予算であります。職員の給与は、国の人事院勧告及び東京都人事委員会の勧告を参考に、職員組合と協議して給与の改定を行うものでありまして、今回は給料を平成19年4月にさかのぼりまして0.07%引き下げる、かわりに期末手当を年間で0.05箇月引き上げるものであります。全体的には引き下げとなっております、補正予算では約1,121万円の減額となっております。

同日、平成20年度当初予算大綱説明会に出席いたしました。一般会計は232億6,300万円で、前年度より4.5%の減であります。また、老人保健特別会計が平成19年度をもって廃止されまして、残務整理が残ることになります。かわって、後期高齢者医療特別会計が平成20年度から新たに始まります。

同日、市議会全員協議会に出席いたしました。案件は4件で、お手元の資料のとおりであります。また、当日配付されました資料につきましては教育委員会事務局にありますので、必要があればお申し出いただきたいと存じます。

2月15日、東大和市歯科医師会との意見交換会に出席いたしました。主なものは、（仮称）総合福祉センターの内容について、それから仮庁舎でない保健セン

ターの建設時期について、新型インフルエンザについて等で、教育委員会に直接関するものについては特にありませんでした。

2月16日、第一小学校の公開授業及び展覧会を見学いたしました。

同日、公民館のつどいを見学いたしました。オープニングに第四中学校のブラズバンド演奏が行われました。

2月18日、第68回国体東京都準備委員会に市長の代理として出席いたしました。国体開催には、開催する都道府県の体育協会会長、それから知事、教育委員会が共同で開催5年前の6月中に、日本体育協会会長及び文部科学大臣あてに申請をすることが必要とされております。これを受けて、本年6月に東京都では申請することを準備委員会で決定いたしました。平成25年の東京都国体実施が正式に決定されることになります。

以上で報告を終わらせていただきます。

○並木委員長 教育長諸務報告が終わりました。

ただいまの報告について、ご質疑等ございましたらご発言をお願いいたします。ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○並木委員長 教育長諸務報告を終わります。

◎日程第3 第2号報告 事務の臨時代理の承認について

○並木委員長 日程第3、第2号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を議題に供します。

議案の朗読をお願いいたします。

(書記朗読)

○並木委員長 説明をお願いいたします。

○佐久間教育長 ただいま議題となりました第2号報告 事務の臨時代理の承認についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、平成20年度使用特別支援学級用教科用図書のうち、供給不能となった図書について変更する必要があることに伴うものであります。

平成20年度使用特別支援学級用教科用図書につきましては、昨年7月の定例教育委員会におきまして審議していただきご承認いただきましたが、東京都教育長から教科用図書の供給不能について通知があり、東大和市立第三小学校の国語で

使用いたします「あいうえお どうぶつずかん」、新風社のもので該当いたしました。本来ならば、かわりとなります教科用図書につきまして、再度審議していただきご承認いただく必要がございましたが、東京都教育長への報告期限が1月31日までとなっておりましたため、東大和市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第2項に基づき、事務の臨時代理をいたしましたので、同条第3項に基づきご報告申し上げます、ご承認をお願いするものであります。

なお、変更後の教科用図書につきましては、「ことばあそびえほん さかさまはやくちならべかえ」、発行元、のら書店のものであります。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

○並木委員長 説明が終わりました。

ご質疑あれば、ご発言をお願いいたします。

ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○並木委員長 質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

第2号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○並木委員長 ご異議なしと認め、第2号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認と決めます。

○並木委員長 ここで会議の非公開についてお諮りいたします。

日程第4、第3号報告 事務の臨時代理の承認について及び日程第5 第12号議案 東大和市教育委員会委員の辞職については、人事案件であることから会議を非公開といたしたいと思いますが、これに賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○並木委員長 ありがとうございます。賛成者全員。よって、会議は非公開といたします。

さらに、本日の会議録及び会議用資料の取り扱いにつきましてお諮りいたします。

本案の会議録及び会議用資料につきましても、非公開としたいと思いますが、

これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○並木委員長 ご異議なしと認め、そのように取り扱いたします。

ここで関係者以外の退場を求めます。

(この間非公開)

○並木委員長 ここで会議の非公開を解きます。退場者の入場を認めます。

◎日程第6 第13号議案 平成20年度東大和市学校給食事業計画
及び平成20年度東大和市学校給食会計
予算の答申について

○並木委員長 日程第6、第13号議案 平成20年度東大和市学校給食事業計画及び
平成20年度東大和市学校給食会計予算の答申について、本件を議題に供します。

議案の朗読をお願いいたします。

(書記朗読)

○並木委員長 説明をお願いいたします。

○佐久間教育長 ただいま議題となりました第13号議案 平成20年度東大和市学校
給食事業計画及び平成20年度東大和市学校給食会計予算の答申についてにつきま
して、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、東大和市学校給食センター運営委員会規則第2条に基づきまして、平
成20年1月28日付で教育委員会から学校給食センター運営委員会に対し諮問し、
その後、平成20年2月4日付で答申をいただいたものであります。

答申内容は、事業計画、予算とも諮問いたしました原案どおりとなっております
ので、よろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

○並木委員長 説明が終わりました。

ご質疑あれば、ご発言をお願いいたします。

ございませんか。

○小泉委員 質問ではないんですけれども、ちょっと気持ちをよろしいでしょうか。

今回、学校給食等に関しましては、ちょうど中国製の冷凍食品について食中毒等の問題が話題になっておりますが、当市におきましては、これは1月31日付にて、小・中学校の保護者あてにお知らせを配布していただき、該当するような食材は使用していないということを確認しました旨、迅速にお知らせを配って対応していただきましたことにとっても安心いたしました。これからも地元でとれた野菜などを子供たちの給食に上げていただいて、安心して子供たちが成長できるように、今までもそうでしたけれども、今まで以上にさらにご配慮いただきたい。それには、また生産者が協力しやすいようないろんな方法もあろうかと思っておりますので、ぜひご検討をお願いできたらと思います。

要望でございます。

○並木委員長 ほかにはございませんか。

(発言する者なし)

○並木委員長 質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

第13号議案 平成20年度東大和市学校給食事業計画及び平成20年度東大和市学校給食会計予算の答申について、本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○並木委員長 ご異議なしと認め、第13号議案 平成20年度東大和市学校給食事業計画及び平成20年度東大和市学校給食会計予算の答申について、本件を承認と決めます。

◎日程第7 その他報告事項

○並木委員長 日程第7、その他報告事項を行います。

「教育の日やまと」について、本件の報告をお願いいたします。

○真如学校教育参事兼指導室長 去る1月25日、金曜日、東大和市教育委員会研究奨励校の一斉発表会、教育の日やまとを開催いたしました。当日の発表会会場で、教育委員さん方から教育委員会としてのごあいさつをいただきました。ありがとうございました。

当日の各会場の状況につきましてまとめましたので、指導主事の方からご報告を申し上げます。

よろしくお願いいたします。

○山本指導主事 それでは、「教育の日やまと」についてご報告をさせていただきます。

平成20年1月25日に、市内第一小学校、第三小学校、第四小学校、第五小学校、第七小学校、第八小学校、第五中学校の計7校で、市内研究奨励校としての発表を一齐に行っていました。

この教育の日やまとの取り組みは、平成18年度からスタートさせまして、本年が2年目ということになります。昨年度は、2枚目の資料にありますとおり4校での実施でしたが、各学校の研究熱も高まり、本年度は先ほど挙げさせていただきました7校の発表となりました。

参加につきましては、平成17年度からの経年比較ができますように資料の方を作成させていただきました。

平成17年度は、各校が研究奨励校の発表をばらばらに行っていたのですが、18年度から「教育の日やまと」ということで一齐に発表することにより、宣伝も効果もあり、たくさんの人が集まってくださっている状況になっております。平成17年度、授業参観の参加者数が591名、18年度、737名、そして本年度は901名ということで、前年比164名の増加の傾向が見られます。ますます市民の方々、また家庭の教育に関する関心というのが高まっているなということを感じております。

今後の課題としまして、やはり研究発表会につきましては、前年度と比べてほぼ横ばい状態であります。この辺をさらに参加を増やし、いろんな学校に研究の成果を持ち帰っていただいて、それを各校で生かしてもらうというような取り組みをしていくことが必要だというふうに考えております。

また、平成20年度も小・中学校の方でかなり研究の熱が高まってきておりまして、奨励校にぜひ応募したいんだというような学校が増える予想もあります。イベントとして終わらせるのではなく、成果を共有化するために、また新たな取り組みを考えて、こちらの方、改善を図ってまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

○並木委員長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

○鈴木委員 「教育の日やまと」については、今年2回目で、私もある小学校に出

席させていただきましたが、感じたことは、市内の研究発表のない学校の教員が多数出席をして、一緒に勉強してくれているということ。これは市全体の教育レベルを上げる上でとても有効で、小学校長会の協力もあったのだろうと思いますけれども、とてもよい方向に向かっていると。研究会を見学して自校に帰って、うちの学校でも来年やってみようという意欲も、そういうところからわいてくるのではないかと思います、その点、大変よかったと思いました。

それから、次に他市の教員から1つの反応として聞いたことですが、
「教育の日やまと」のビラというか、あれは多摩地区全体に配られているわけですか。それで、多摩地区の他市の小学校の職員室にきっと張ってあったんだろうと思うんですけれども、「教育の日やまと」というのは、一体、東大和は何を始めたんだろうということでもってとても関心が高かったと。その方は、かつて東大和で奉職していた方で、私は鼻高々だったと、そういうような反響もありました。これもとてもよい成果だったと感じました。

それから、ついでもうすけれども、先日、中央公民館で東大和市教育研究会の発表会がありまして、私どもが招待されて見せていただいたのは2回目でしたけれども、昨年よりも非常に子供に直結する研究内容の発表で、レベルの高い内容だと思いました。また、教員の参加の数がとても多くて、教員自身の関心も高い。特に若い教員が真剣に勉強している様子を見て、この先が楽しみに感じました。

1つお願いですけれども、今年は「教育の日やまと」に中学校の発表も1校あったわけですが、小・中の連携が非常に大事になってきていますから、研究会にも中学校の教員も小学校の研究に参加していただきたい。小学校の教員も、中学校の五中の研究会に勉強させていただきたい。それから、東大和市教育研究会の発表会にも、中学校の教員も、少なくとも校長、副校長、研究主任ぐらいは一緒に参加して勉強していただいて、関心を高めるような方法を考えていただきたい、そういうお願いをしたいと思います。

以上です。

○並木委員長 2点ほど、ビラの件と今の件、どなた。

○山本指導主事 前向きなご意見、ありがとうございます。

ビラに関しましては、多摩地区だけではなく都内の全校に配布させていただいております。かなり表紙の部分の印象が強かったのか、かなりいい反響をいただいております。

また、小・中連携につきましては、今ちょうど教育課程の事前相談を実施させていただいております。平成20年度の本市の課題ということで、小学校並びに中学校の方にも、小・中連携の視点についてご検討いただくような形をとらせていただいております。また、校長会等に「教育の日やまと」の相互の参観について呼びかけをして、この活動が充実するよう働きかけていきたいというふうに考えております。

よろしくお願いいたします。

○鈴木委員 先ほども触れましたけれども、小学校の校長会等で、体制をつくる協力をしてきていることや、小学校のすべての教員が研究会等に参加してくれていることは、とてもありがたいことで、私どもからもお礼を言いたいと思いますので、お伝えをしていただきたいと思います。

○並木委員長 ほかにございませんか。

(発言する者なし)

○並木委員長 質疑を終了いたします。

これで、その他報告事項を終了いたします。

◎閉会の辞

○並木委員長 以上をもちまして、本日予定しておりました議事日程はすべて終了いたしました。

これをもって平成20年第2回東大和市教育委員会定例会を閉会いたします。

午後 2時59分閉会

以上の会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

東大和市教育委員会委員長 並木 周蔵

会 議 録 署 名 委 員 鈴木 敏彦